

< 今日の説教のポイント ルカによる福音書 12 章 22~34 節 >

1 「思い悩むな」と言われている理由・根拠までしっかり見つめたい。

いわゆるグレート・テキストです。マタイも記し残しています（マタイ 6:25-34）。悩んだ時に、「思い悩むな」と語りかけて下さるイエス様の言葉を思い出して慰められ励まされた人も多いでしょう。しかし、ただこの言葉だけ思い出すのではなく、そこに語られている「思い悩まなくていい理由・根拠」まで今日はしっかり考えたいと思います。

2 なぜここにルカは置いたのか？ 前後の個所の内容と関係あり！

ルカはなぜイエス様のこの言葉をここに置いたのでしょうか（マタイ 6:25-34 とは違う）。この個所の前後とのつながりを見ればその理由が見えて来ます。直前の個所は「愚かな金持ちのたとえ」の話でした。神様のことも周りの人のことも考えない、自分のことしか考えない人の愚かさが語られ、最後に、「**自分のために富を積んでも、神の前に豊かにならない者はこのとおりだ**」とイエス様は言われました(12:21)。これはまさに今日の個所の「**自分の持ち物を売り払って施しなさい。擦り切れることのない財布を作り、尽きることのない富を天に積みなさい**」(33)と同じ内容です。思い悩むことから解き放たれるのは、「どうしたらいいか」を神様抜きで自分だけで考えるのではなく、この神様を入れて考え出すときに始まり出すのです。「**あなたがたのうちのだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。こんなごく小さな事さえできないのに、なぜ、ほかの事まで思い悩むのか**」(25-26)、という言葉がよくそれを表しています。

3 「神の国を求めなさい」とは「神の支配の中を生きなさい」の意味。

「**ただ、神の国を求めなさい。そうすれば、これらのものは加えて与えられる**」(31)。「**これらのもの**」とは、私が欲しいと思うものではなく、神様が「私たちににとって必要なもの」と思われているものです。どちらが私たちににとって本当に必要なものか？ 後者です。その時に「**神の国＝神の支配**」が私たちに訪れるからです。「**小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる**」(32)。「**神の国をくださる**」とは、「**神の支配**」の中を生きるようになる時に主なる神様の平安が訪れることを意味しています。その時に、不可能で意味不明に思われた「**擦り切れることのない財布を作り、尽きることのない富を天に積みなさい**。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない」(33)が分かり始めるはずです。神様を私の富とするようになるとき、余計な思い悩みから解き放たれていくのです。